

# 島特だより 第7号

～ 秋から冬へ 寒さなんか吹き飛ばせ ～

令和2年12月25日(金)  
県立島尻特別支援学校  
八重瀬町字友寄160  
編集責任者 新垣伸次

「光陰矢の如し」と言いますが、あっという間に12月を迎え、本日、感染症対策をしながらの終業式を行ない、一年で最も長い2学期を終えます。沖縄でも寒暖を繰り返しながら、いよいよ冬に向かいます。元気に過ごすためにも、生活リズムを整えることを心がけたいものです。具体的には、十分な睡眠と三度の食事をしっかりととり、適度に身体を動かすことが良いと言われています。感染症対策をしつつ、体調をしっかり整えてこの冬を乗り切りましょう。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために臨時休業をはじめ学校行事等においても様々な制約を受け、厳しい状況にありました。しかし、保護者の皆さんをはじめ、関係機関の皆さん、学校職員がひとつになって子どもたち一人一人を輪の中心におき、様々な取り組みを通して有意義な学校生活を送ることができたと思います。心から感謝しております。子どもたちは、それぞれに充実した学校生活を送り、成長した姿を見せてくれています。本日、お渡しする通知表(よいこのあゆみ)をお読みいただき、頑張った子どもたちの様子をご確認いただき、褒めてあげてください。次への頑張りにつなげていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。

## 芸術の秋、締めはプロ演奏による鑑賞会

令和2年度文化庁芸術家派遣事業(文化芸術による子供育成総合事業)による音楽鑑賞会が12月2日(水)、3日(木)の日程で中学部と高等部の音楽の授業で行われました。この事業は前年度の申し込みで実施校が決定するもので、本校は今回で2回目の実施でした。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催が危ぶまれましたが9月の予定を延期して12月の開催となりました。

ピアノ連弾の新崎姉妹のお二人(新崎誠実さん・新崎洋実さん)とクロマティック・ハーモニカの比嘉祥人さんをお迎えして、ハーモニカと鍵盤ハーモニカの違いを紙風船を用いた説明や、ピアノを一人で弾く時と二人で連弾になった時の音量の違いなどの説明は分かりやすく興味深い内容となりました。また、プログラムでは「剣の舞」や「クリスマスメドレー」、「香水」など耳なじみのある曲目を演奏していただき、あっという間の時間でした。事後学習では生徒から「息を吸うのか、はくのかによって音が変わってそれを駆使して演奏していて聴いていて楽しい時間を過ごせました!」「二人でピアノを演奏するところがおもしろかった。運動会メドレーで知ってる曲があっておもしろかった。また生でみてみたい。」などの感想が出ていて、集中して楽しんで聴いていたことが分かりました。生徒がより身近に、生の音を感じることでできる機会となるので、また次年度も開催できればと思っています。



By (中)儀間寛子、(高)赤嶺聖良

## 県立真和志高校との交流及び共同学習を終えて

高等部 2 年生活単元学習 C グループと 2 年 6 組 17 名は、新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、県立真和志高校との交流及び共同学習を行いました。

高等学校の同年代の生徒との交流及び共同学習を通して、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ねることで、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会とすることをねらいとして全 5 回の実施となりました。

前半（7 月 28 日、9 月 8 日）は、陶芸、声楽、器楽、環境造形の 4 つのグループに分かれて県立真和志高校の授業に参加しました。県立真和志高校の生徒とシーサーを作ったり、島ぞうりのデザインをしてお互いの作品を鑑賞したり、楽器を演奏したり、手話ソングを教え合ったりと最初は緊張しながらも徐々に慣れ、楽しみながら積極的に授業に参加している様子が見られました。演奏を終えた後には、ガッツポーズをしていました。手話ソングのパート練習では、A パートまで覚えるところを「次のパートまでしたい」と生徒の意欲的な発言もありました。島ぞうりの鑑賞会では、感想を述べ合うことで会話も生まれ、お互いの距離が縮まっていくように感じました。後半は、次号で。By 照屋 純子



声楽：手話ソンググループ練習



陶芸：シーサー作り



器楽：ギター練習

## キャリア教育について考える Part 2

前々号でキャリア教育の序論的なことを述べてきましたが、今回は特別支援学校におけるキャリア教育について整理してみたいと思います。本校の教育目標の末に「・・・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、明るく、たくましく生き抜く力を養うとともに、自立し社会参加できる人間の育成」をかかげています。これは、学校教育法第 72 条「特別支援学校の目的」や特別支援学校の指導領域のひとつである「自立活動の目標」とも深いつながりがあります。特別支援学校では、障害のある幼児児童生徒の社会的自立に向けた学習指導が行われています。このことから、特別支援学校のキャリア教育とは「障害の状況を踏まえて幼児児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、生活上の困難を克服できる資質や能力を高め、社会的な自立を育てる」と考えられます。本校でのキャリア教育については、キャリア発達を踏まえた具体実践例をお示ししながら述べていきたいと思っています。次号に続く。

日	曜日	令和 2 年 1 月 行事予定
6	水	3 学期始業式（通常日課） P T A 運営委員会 (舎)入舎面接(～ 20 日)
7	木	(高)身体測定①
8	金	(高)身体測定②
12	火	(中)身体測定
14	木	(幼小)身体測定① 校医検診(駅伝選手)
15	金	(幼小)身体測定② 第 5 回 P T A 評議員会
18	月	(中)就業体験(～ 25 日) P T A 進路講話
19	火	かみかみ・りぼんの日
26	火	学校給食週間(～ 29 日)
28	木	特体連駅伝大会結団式、漢字検定

～編集後記～

明日から冬休みです。何かと気忙しい年末年始ですが、子どもたちにとっては楽しい時期の一つです。今年の年末年始は例年にはない過ごし方になると思いますが、感染症対策を十分に行いながらお過ごしください。新たな気持ちで 3 学期を迎えましょう。良い年をお迎えください。